

県内経済の基調判断

2025年3月速報

最近の県内景況をみると、総じて足踏みしている。

概況

生産は振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。需要面の動きをみると、公共投資は弱めの動きとなっている。住宅投資は弱めの動きとなっている。個人消費は総じて弱含んでいる。雇用情勢は持ち直しの動きが足踏みしている。

(参考) 県内景況判断の推移

	2025年1月	2月	3月
総括判断	総じて足踏みしている (据え置き)	総じて足踏みしている (据え置き)	総じて足踏みしている (据え置き)
生産	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる
公共投資	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている
住宅投資	<u>弱めの動きとなっている</u>	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている
個人消費	総じて弱含んでいる	総じて弱含んでいる	総じて弱含んでいる
雇用情勢	持ち直しの動きが足踏みしている	持ち直しの動きが足踏みしている	持ち直しの動きが足踏みしている
	2024年4~6月	7~9月	10~12月
企業状況の感	総じて持ち直しているが、 <u>一部で弱めの動きがみられる</u>	総じて持ち直しているが、一部で弱めの動きがみられる	総じて持ち直しているが、一部で弱めの動きがみられる

注) 下線は前月(回)からの変更箇所

77B I

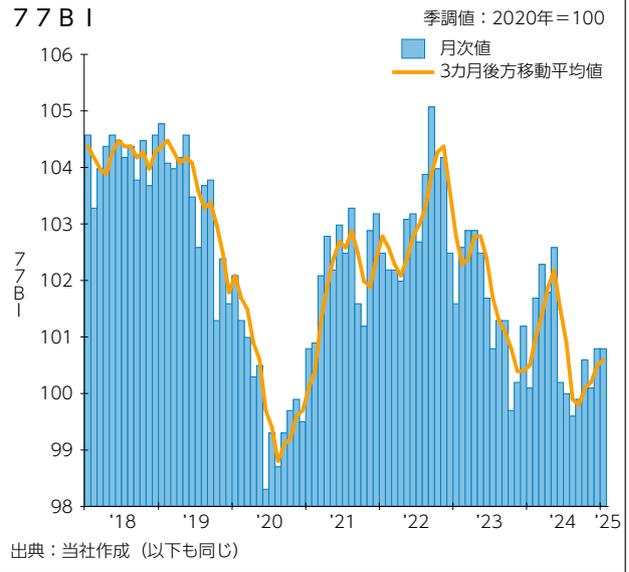
77B I (暫定値)は、弱めの動きとなっている。

1月の77B I (暫定値)は、前月比横ばいの100.8となった。

採用指標別にみると、建築物着工床面積は前月比上昇し、有効求人倍率は前月比横ばいとなったが、宮城県消費動向指数は前月比低下した。また、12月の鉱工業生産指数は前月比上昇した。

一方、移動平均値(3カ月後方)は、前月比0.1ポイント上昇の100.6となった。

77B I



77B I (季節調整値、2020年=100)

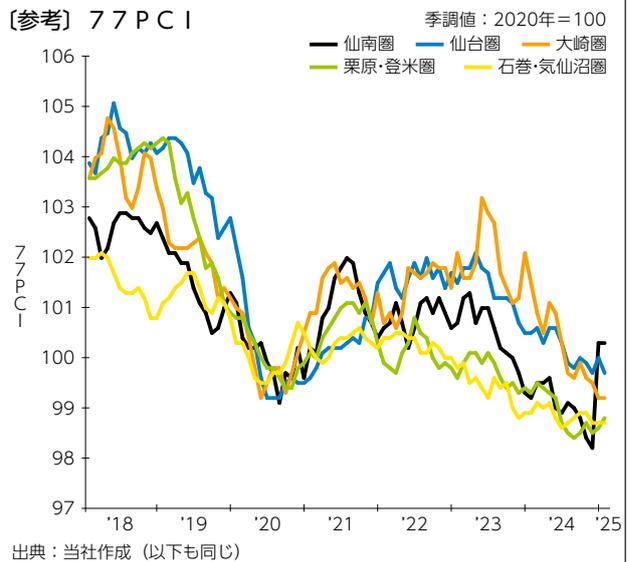
	2024年11月	12月	2025年1月
B I 値	100.1	100.8	100.8
鉱工業生産指数	102.0	106.8	106.8
宮城県消費動向指数	99.6	99.8	98.2
建築物着工床面積	43.1	107.3	154.7
有効求人倍率	97.9	97.1	97.1

【参考】77P C I (広域圏別景気指数) (季節調整値、2020年=100、前月比:%ポイント)

	2024年11月	12月	2025年1月
仙南圏	▲ 0.2	2.1	▲ 0.1
仙台圏	▲ 0.2	0.3	▲ 0.3
大崎圏	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.01
栗原・登米圏	▲ 0.2	0.1	0.2
石巻・気仙沼圏	▲ 0.3	0.1	▲ 0.1

※77B Iは、2024年8月公表分より基準年を変更(2020年=100)し、すべての指数を遡って改訂しました。今後、指数の妥当性の検証等により再度遡って改訂することがありますので、予めご了承ください。

【参考】77P C I



生産動向

鉱工業生産指数は、振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。

12月の鉱工業生産指数は、前月比4.7%上昇の106.8となった。業種別にみると、汎用・生産用・業務用機械工業が前月比プラスとなったことなどから、2カ月ぶりに前月を上回った。

一方、前年と比較すると、汎用・生産用・業務用機械工業が前年を上回ったことなどから、全体では前年比4.1%の上昇となり、3カ月連続して前年を上回っている。

鉱工業生産指数



鉱工業生産指数

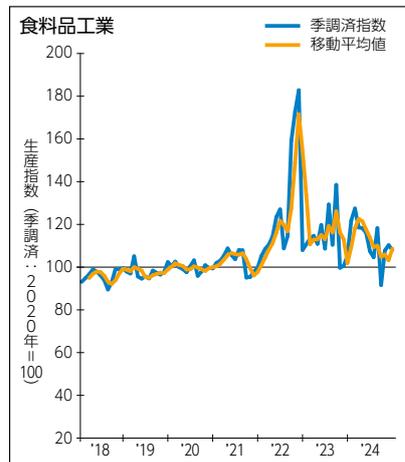
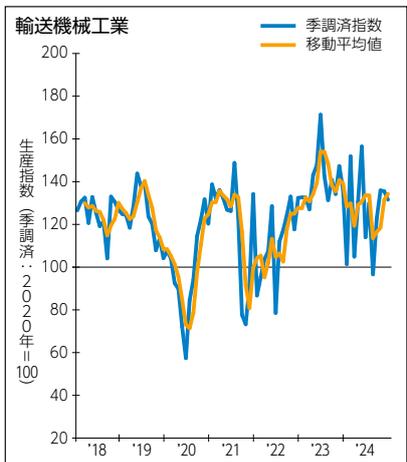
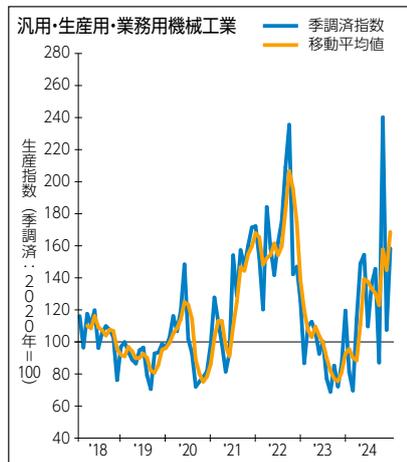
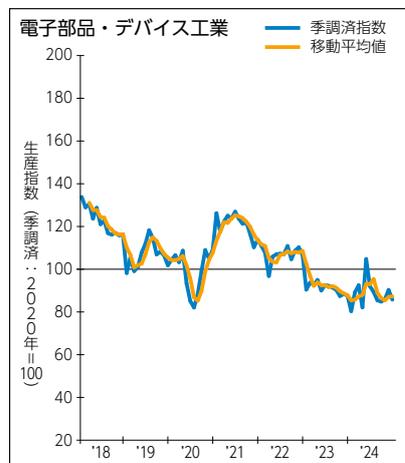
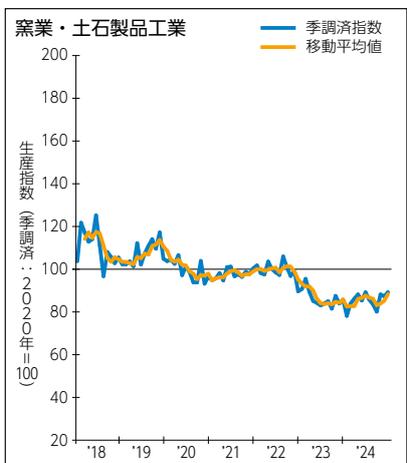
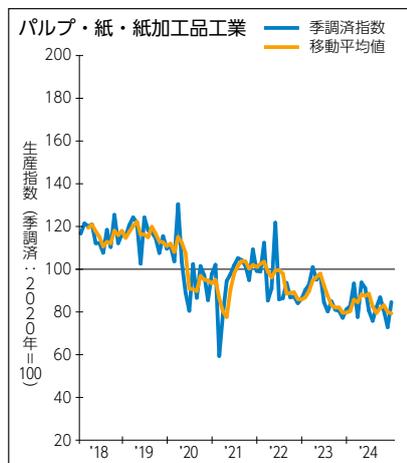
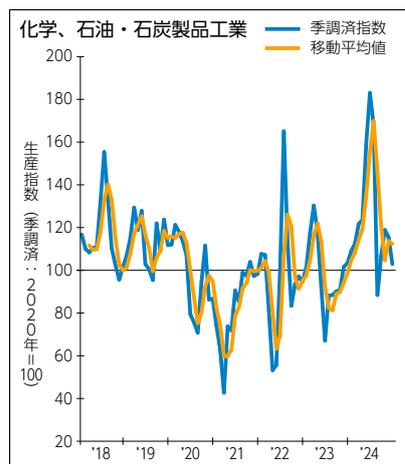
(2020年 = 100、季節調整済、前年比：%)

	2024年10月	11月	12月
宮城県	109.2	102.0	106.8
(前年比)	15.1	3.0	4.1
東北	112.6	106.3	107.0
(前年比)	11.5	5.0	3.8
全国	104.1	101.8	101.6
(前年比)	1.4	▲ 2.7	▲ 1.6

主要業種別生産動向(宮城県)

(2020年 = 100、季節調整済、前年比：%)

業種	2024年10月	11月	12月
化学、石油・石炭製品工業	118.9	115.5	102.9
(前年比)	31.0	9.0	▲ 0.5
パルプ・紙・紙加工品工業	80.5	72.8	84.6
(前年比)	▲ 1.7	▲ 4.0	2.4
窯業・土石製品工業	88.2	87.3	89.3
(前年比)	3.8	6.6	7.4
電子部品・デバイス工業	85.9	90.3	85.7
(前年比)	0.2	0.1	▲ 0.1
汎用・生産用・業務用機械工業	240.4	107.4	158.4
(前年比)	3.4倍	40.5	35.4
輸送機械工業	136.0	135.6	131.6
(前年比)	3.9	▲ 12.6	▲ 1.0
食料品工業	107.8	110.3	108.1
(前年比)	7.9	11.5	2.4



建設動向

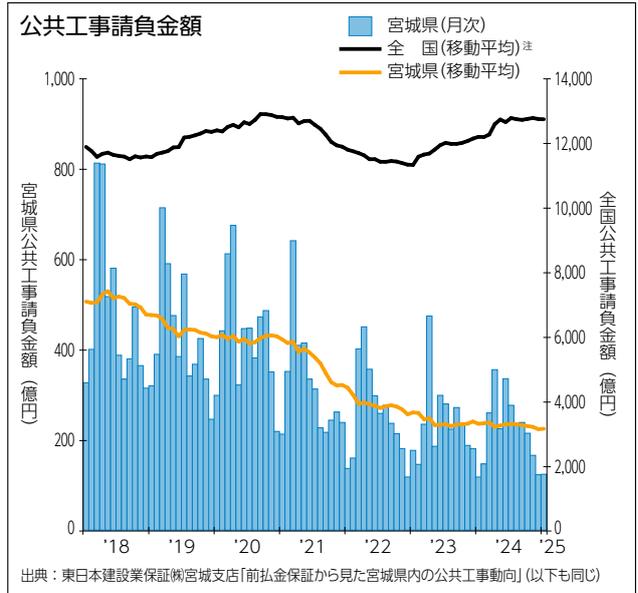
公共工事請負金額は弱めの動きとなっている。住宅着工は弱めの動きとなっている。建築物着工は基調として水準は低下している。

公共工事

1月の公共工事請負金額は、前年同月比5.4%増の124億円となり、5カ月ぶりに前年を上回った。発注者別にみると、国の機関では、同17.5%減の11億円と前年を下回った。

一方、地方の機関は、県が同25.5%増の65億円、市町村等は同8.7%減の48億円となり、全体で同8.3%増の113億円と前年を上回った。

また、震災前の2010年1月の請負金額（99億円）と比べた水準は24.9%増となっている。



注) 12カ月後方移動平均値、以下のグラフも断りのない限り同じ

公共工事請負金額(発注者別) (前年比、%)

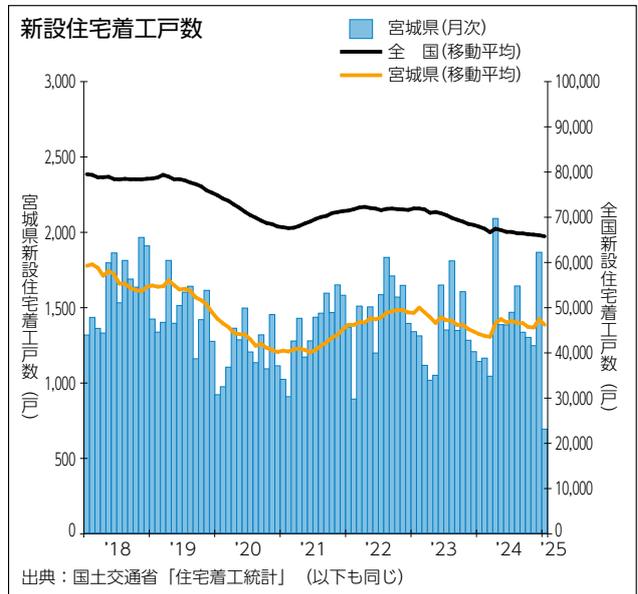
	2024年11月	12月	2025年1月
宮城県	▲ 11.7	▲ 32.5	5.4
国の機関	8.6	35.3	▲ 17.5
県	3.7	5.1	25.5
市町村等	▲ 23.5	▲ 54.0	▲ 8.7
全国	4.6	▲ 5.7	▲ 1.3

住宅建設

1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比39.4%減の691戸（全国4.6%減、56,134戸）となり、2カ月ぶりに前年を下回った。

利用関係別にみると、持家が同10.4%減（224戸）、貸家が同43.3%減（330戸）、分譲が同55.2%減（137戸）と前年を下回った。

また、震災前の2010年1月の着工戸数（1,136戸）と比べた水準は39.2%減となっている。



新設住宅着工戸数(利用関係別) (前年比、%)

	2024年11月	12月	2025年1月
宮城県	▲ 2.8	54.8	▲ 39.4
持家	19.4	39.1	▲ 10.4
貸家	▲ 9.5	50.0	▲ 43.3
分譲	▲ 9.3	86.1	▲ 55.2
全国	▲ 1.8	▲ 2.5	▲ 4.6

新設住宅着工戸数(市部・郡部別) (前年比、%)

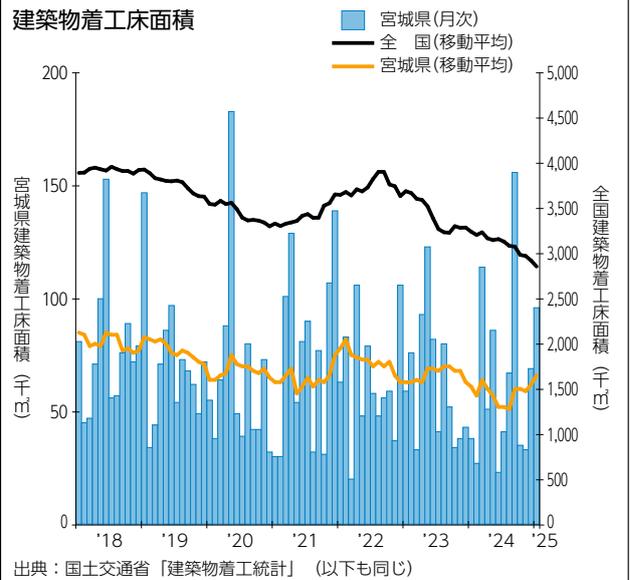
	2024年11月	12月	2025年1月
市部	▲ 0.9	75.8	▲ 41.4
うち仙台市	2.0	61.1	▲ 44.1
うち仙台市以外	▲ 7.5	2.2倍	▲ 33.3
郡部	▲ 13.2	▲ 15.5	▲ 20.4

建築物着工

1月の建築物着工（民間非居住用）は、床面積が前年同月比2.5倍の96千㎡、工事費予定額は同4.2倍の387億円となり、床面積、工事費予定額とも前月に引続き前年を上回っている。

使途別に床面積をみると、倉庫（37千㎡：前年同月比4.6倍）などが前年を上回った。

建築物着工床面積



建築物着工床面積(使途別) (前年比、%)

	2024年11月	12月	2025年1月
宮城県	▲ 14.6	59.4	2.5倍
事務所	▲ 83.8	7.0倍	4.6倍
店舗	4.2倍	83.2	▲ 28.6
工場	▲ 71.5	67.7倍	2.2倍
倉庫	2.4倍	▲ 39.8	4.6倍
その他	▲ 42.8	▲ 37.1	87.8
全国	▲ 4.7	▲ 19.4	▲ 26.1

建築物着工工事費予定額(使途別) (前年比、%)

	2024年11月	12月	2025年1月
宮城県	▲ 23.9	84.3	4.2倍
事務所	▲ 87.8	13.9倍	8.2倍
店舗	98.0	3.3倍	▲ 0.4
工場	▲ 64.2	64.0倍	3.4倍
倉庫	2.9倍	▲ 39.2	8.5倍
その他	▲ 26.5	▲ 49.9	2.8倍
全国	0.9	▲ 37.5	▲ 28.9

消費動向

宮城県消費動向指数、小売業主要業態販売はいずれもこのところ弱含んでいる。乗用車新車販売は一進一退の動きとなっている。

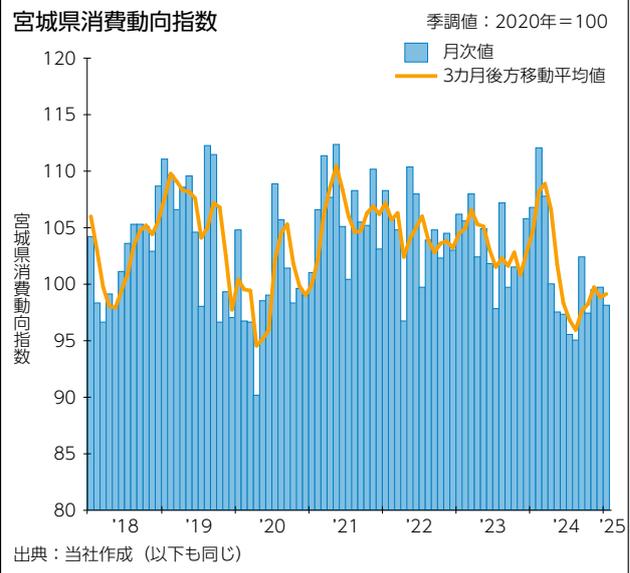
消費動向指数

1月の宮城県消費動向指数は、前月比1.6ポイント低下の98.2となり、3カ月ぶりに低下した。

消費費目別にみると、「教養娯楽」「被服・履物」などが低下した。

一方、移動平均値（3カ月後方）は、前月比0.3ポイント上昇の99.2となった。

宮城県消費動向指数



※消費動向指数は、宮城県内の個人消費動向をよりの確に把握するため、総務省「家計調査報告」などを使用して、個人消費動向を需要側から捕捉する指標として、当社が独自に作成した指数。

※消費動向指数は、2024年8月公表分より基準年を変更（2020年=100）し、すべての指数を遡って改訂しました。今後、指数の妥当性の検証等により再度遡って改訂することがありますので、予めご了承ください。

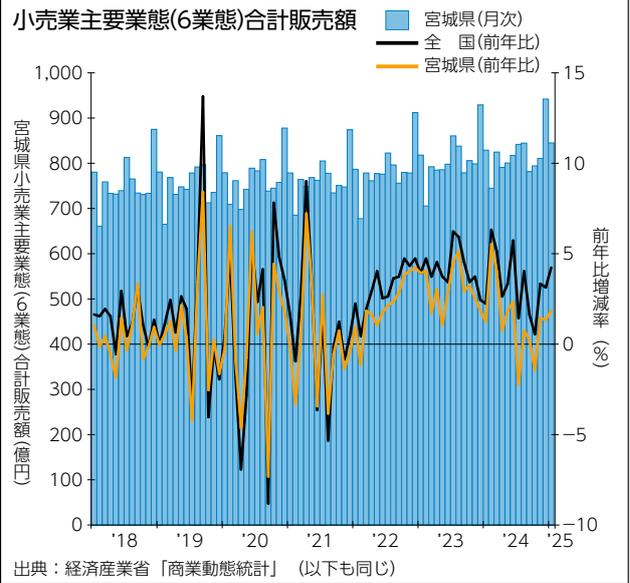
宮城県消費動向指数 (季節調整値、2020年=100)

	2024年11月	12月	2025年1月
消費動向指数	99.6	99.8	98.2
家賃指数	109.3	110.0	110.2
乗用車販売指数	108.1	103.3	92.1
コア消費支出指数	109.3	108.2	106.1

小売業主要業態販売

1月の小売業主要業態（6業態）の合計販売額（全店ベース）は、前年同月比1.9%増の849億円（全国4.3%増、4兆3,506億円）となり、3カ月連続して前年を上回っている。

業態別にみると、百貨店・スーパーは同0.2%減の357億円（全国4.1%増）となり、前月に引続き前年を下回っている。コンビニエンスストアは同3.1%増の199億円（全国4.1%増）となり、3カ月連続して前年を上回っている。家電大型専門店は同8.0%増の89億円（全国5.0%増）となり、前月に引続き前年を上回っている。ドラッグストアは同2.4%増の152億円（全国6.2%増）となり、46カ月連続して前年を上回っている。ホームセンターは同1.3%増の51億円（全国0.6%増）となり、3カ月連続して前年を上回っている。



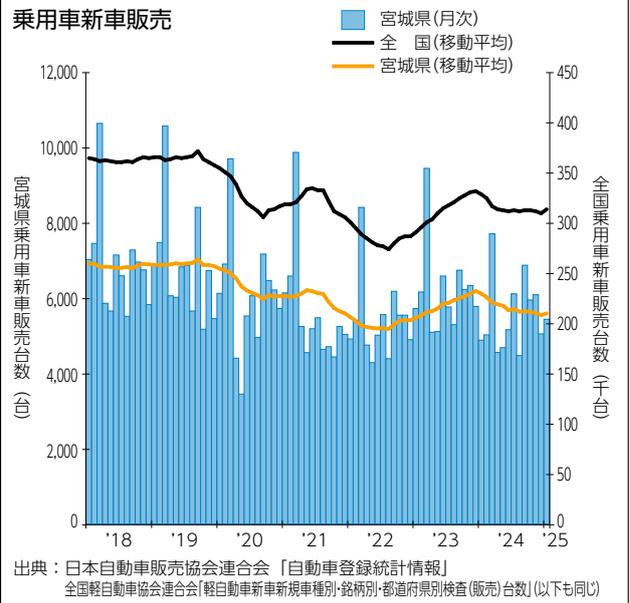
小売業主要業態販売額 (前年比、%)

	2024年11月	12月	2025年1月
6業態合計(宮城県)	1.5	1.4	1.9
百貨店・スーパー	1.3	▲ 0.8	▲ 0.2
コンビニエンスストア	0.3	0.6	3.1
家電大型専門店	▲ 1.5	0.4	8.0
ドラッグストア	5.4	9.6	2.4
ホームセンター	0.2	0.3	1.3
6業態合計(全国)	3.4	3.2	4.3

注) 全店ベース

乗用車新車販売

1月の乗用車新車販売台数は、前年同月比11.4%増（全国15.0%増）の5,446台となり、4カ月ぶりに前年を上回った。車種別にみると、普通車は、同7.3%増（全国9.0%増）の2,201台となり、2カ月ぶりに前年を上回った。小型車は、同7.4%増（全国19.8%増）の1,252台となり、13カ月ぶりに前年を上回った。また、軽乗用車は、同19.2%増（全国20.9%増）の1,993台となり、4カ月ぶりに前年を上回った。



乗用車新車販売台数 (前年比、%)

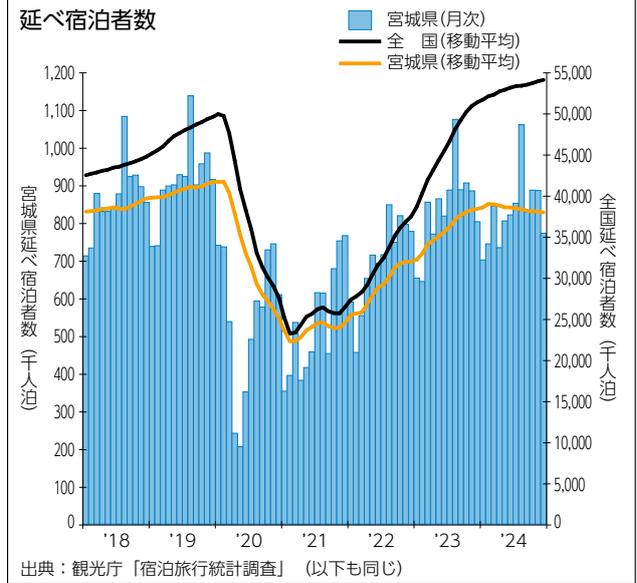
	2024年11月	12月	2025年1月
宮城県	▲ 3.8	▲ 12.6	11.4
普通車	2.5	▲ 8.9	7.3
小型車	▲ 2.2	▲ 22.8	7.4
軽乗用車	▲ 12.2	▲ 10.2	19.2
全国	▲ 3.9	▲ 7.0	15.0

観光動向

12月の延べ宿泊者数は、前年同月比3.8%減の774千人泊となり、2カ月ぶりに前年を下回った。

居住地別にみると、県内宿泊客は同16.5%減の203千人泊と5カ月連続して前年を下回っており、県外宿泊客は同2.4%減の485千人泊と3カ月ぶりに前年を下回った。

また、外国人の延べ宿泊者数は、同34.6%増の73千人泊となり、29カ月連続して前年を上回っている。



延べ宿泊者数(居住地別) (千人泊)

	2024年10月	11月	12月
宮城県	889	888	774
うち県内客	171	193	203
うち県外客	627	596	485
うち外国人	75	73	73
全国	58,440	57,118	54,607
うち外国人	15,823	14,791	15,408

延べ宿泊者数(居住地別) (前年比、%)

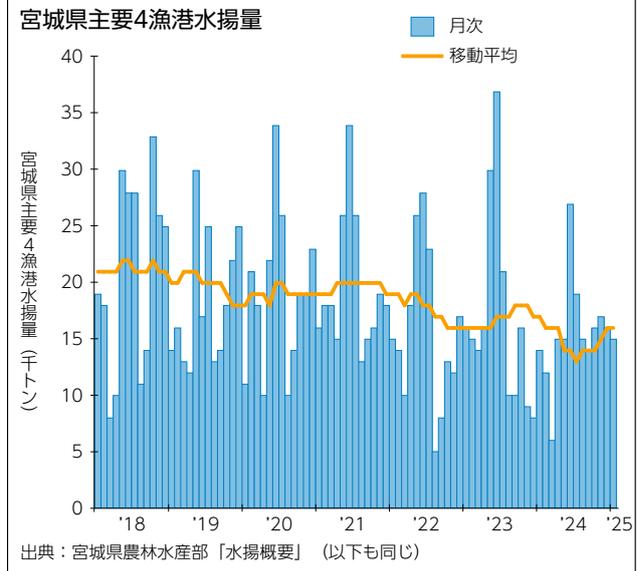
	2024年10月	11月	12月
宮城県	▲ 2.0	0.1	▲ 3.8
うち県内客	▲ 16.2	▲ 11.7	▲ 16.5
うち県外客	0.6	1.0	▲ 2.4
うち外国人	11.0	27.4	34.6
全国	4.1	4.9	4.0
うち外国人	26.6	22.9	22.9

水産動向

1月の主要4漁港(塩釜、石巻、気仙沼、女川)における水揚は、数量が前年同月比7.7%増の15千トン、金額が同17.7%減の26億円となり、数量は3カ月連続して前年を上回っており、金額は6カ月ぶりに前年を下回った。

魚種別にみると、数量はイワシ類などが増加し、金額はイワシ類などが減少した。

漁港別にみると、数量は塩釜、石巻が前年を下回ったが、気仙沼、女川が前年を上回った。金額は気仙沼、女川が前年を上回ったが、塩釜、石巻が前年を下回った。



主要漁港水揚量 (前年比、%)

	2024年11月	12月	2025年1月
合計	83.0	2.1倍	7.7
塩釜	2.1倍	▲ 69.3	▲ 83.4
石巻	70.9	2.7倍	▲ 6.6
気仙沼	91.7	2.1倍	30.2
女川	87.1	3.8倍	77.0

主要漁港水揚金額 (前年比、%)

	2024年11月	12月	2025年1月
合計	48.6	10.7	▲ 17.7
塩釜	34.2	▲ 22.4	▲ 57.4
石巻	20.7	33.0	▲ 3.5
気仙沼	70.8	21.9	3.6
女川	93.7	85.6	1.3

貿易動向

1月の貿易額（仙台塩釜、石巻、気仙沼の各港および仙台空港における通関実績）は、輸出が前年同月比22.7%減の281億円と3カ月ぶりに前年を下回った。輸入が同3.1%減の1,023億円と前月に引続き前年を下回っている。

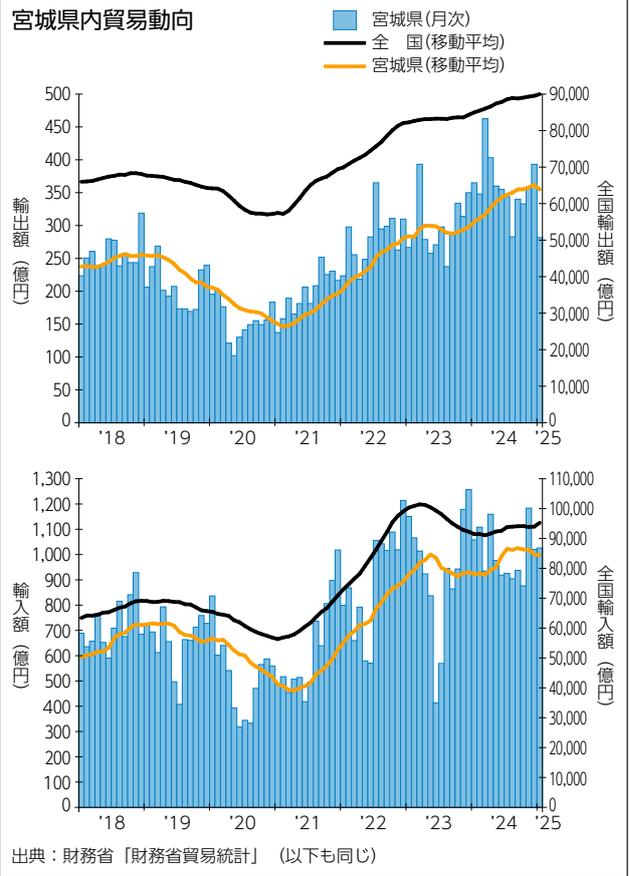
輸出額・輸入額 (前年比、%)

		2024年11月	12月	2025年1月
宮城県	輸出	14.3	12.5	▲ 22.7
	輸入	0.4	▲ 18.8	▲ 3.1
全国	輸出	3.8	2.8	7.2
	輸入	▲ 3.8	1.7	16.7

各港の輸出額・輸入額 (前年比、%)

		2024年11月	12月	2025年1月
仙台塩釜	輸出	16.1	14.9	▲ 22.4
	輸入	▲ 0.02	▲ 21.7	▲ 0.9
石巻	輸出	▲ 32.0	▲ 27.7	▲ 25.0
	輸入	12.2	70.8	▲ 32.0
気仙沼	輸出	70.1	32.9	3.4倍
	輸入	▲ 50.3	16.9	▲ 2.2
仙台空港	輸出	▲ 35.4	▲ 62.3	▲ 63.2
	輸入	▲ 55.7	全増	▲ 90.0

宮城県内貿易動向



物価動向

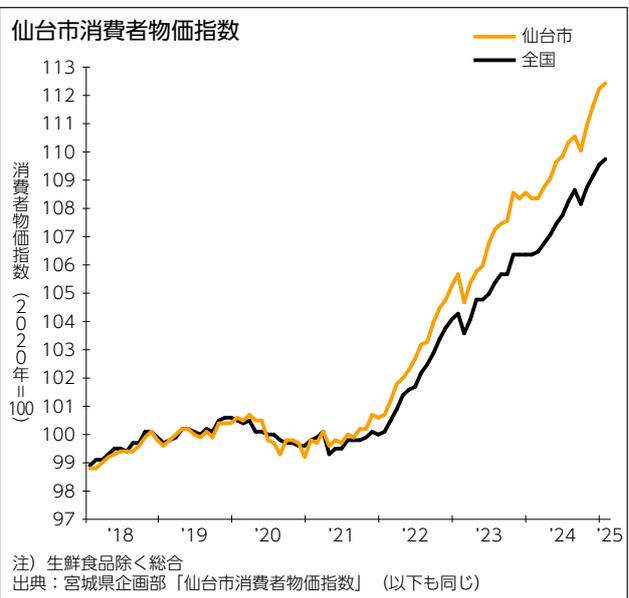
1月の仙台市消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年同月比3.8%上昇の112.5となり43カ月連続して前年を上回っている。

費目別にみると、「生鮮食品を除く食料」「光熱・水道」などが上昇した。

消費者物価指数(費目別) (前年比、%)

	2024年11月	12月	2025年1月
生鮮食品を除く食料	4.4	5.2	5.4
住居	1.9	2.4	2.5
光熱・水道	4.7	9.5	9.5
家具・家事用品	5.3	3.4	3.8
被服および履物	▲ 0.2	0.9	0.3
保健医療	0.9	0.9	1.1
交通・通信	1.8	1.2	2.9
教育	3.4	3.4	3.3
教養娯楽	3.4	2.0	1.9
諸雑費	1.8	2.0	2.2

仙台市消費者物価指数



消費者物価指数(生鮮食品を除く総合) (前年比、%)

	2024年11月	12月	2025年1月
仙台市	3.0	3.5	3.8
全国	2.7	3.0	3.2

雇用動向

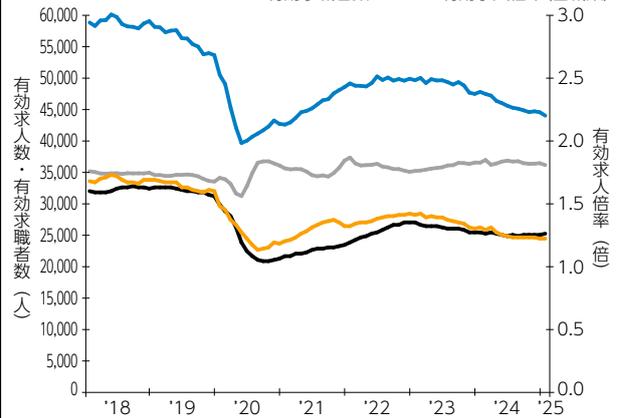
雇用情勢は持ち直しの動きが足踏みしている。

1月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月に比べ有効求職者数、有効求人数ともに減少したことなどから、前月比横ばいの1.22倍となった。

また、新規求人数を産業別にみると、前年に比べて卸売業・小売業などが減少した。

有効求人倍率（原数値）を職業安定所別にみると、大和（1.58倍）、石巻（1.57倍）などが1倍を上回っている一方、大河原（0.78倍）、塩釜（0.79倍）などは1倍を下回っている。

雇用動向



出典：宮城労働局「宮城県の一般職業紹介状況」（以下も同じ）

有効求人倍率等

(倍、%)

	2024年11月	12月	2025年1月
有効求人倍率(宮城県)	1.23	1.22	1.22
(全国)	1.25	1.25	1.26
新規求人数(前年比)(宮城県)	▲ 6.8	▲ 7.5	▲ 7.1

注) 有効求人倍率は季節調整値、新規求人数は原数値

職業安定所別有効求人倍率

(原数値、倍)

	2024年11月	12月	2025年1月
気仙沼	1.19	1.26	1.24
石巻	1.34	1.45	1.57
塩釜	0.75	0.77	0.79
仙台	1.47	1.51	1.48
大和	1.48	1.59	1.58
古川	1.02	1.03	1.08
築館	1.36	1.50	1.56
迫	0.84	0.85	0.90
大河原	0.60	0.76	0.78
白石	1.24	1.32	1.28

倒産動向

1月の企業倒産（負債総額1千万円以上）は、件数では前年同月比90.0%増の19件、負債額では同

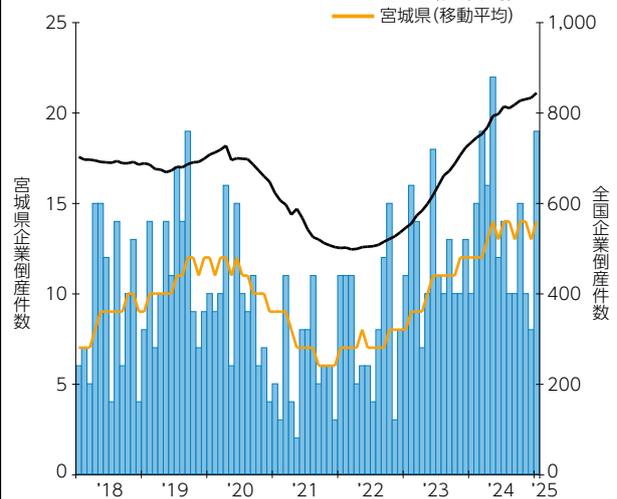
54.7%増の37億円となった。

倒産企業を業種別にみると、建設業が9件、サービス業他が5件などとなっている。

主因別では、販売不振が13件、他社倒産の余波が2件などとなっている。

地域別では、仙台市が13件、多賀城市が2件などとなっている。

宮城県企業倒産件数



出典：(株)東京商工リサーチ「倒産月報(宮城県企業倒産状況)」（以下も同じ）

企業倒産件数・負債額

(件、百万円)

		2024年11月	12月	2025年1月
宮城県	件数	10	8	19
	負債額	1,013	574	3,675
全国	件数	841	842	840
	負債額	160,223	194,030	121,449

企業倒産件数・負債額

(前年比、%)

		2024年11月	12月	2025年1月
宮城県	件数	0.0	▲ 38.5	90.0
	負債額	▲ 58.1	▲ 41.3	54.7
全国	件数	4.2	4.0	19.8
	負債額	68.9	88.0	53.5

人口動向

2月1日時点の宮城県の人口（推計人口）は、前年同月比17,722人減の224万759人となり、46カ月連続して前年を下回っている。

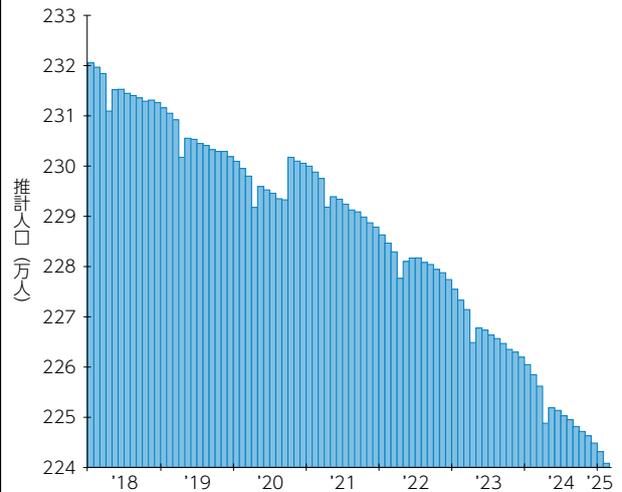
人口動態別にみると、ここ1年間で自然増減は1万7,956人減、社会増減は234人増となった。

市町村別にみると、前年に比べて人口が増加したのは、名取市（67人増）の1市、減少したのは仙台市（2,294人減）、石巻市（2,203人減）など34市町村となっている。

また、震災前の2011年3月1日現在の人口（234万6,853人）と比べると、県全体では10万6,094人減となっている。

市町村別にみると、仙台市（4万8,001人増）、名取市（5,331人増）など6市町村では増加したが、石巻市（2万9,208人減）、気仙沼市（1万7,448人減）など29市町では減少している。

宮城県人口動向



出典：宮城県企画部「宮城県推計人口」（以下も同じ）

宮城県人口 (人)

	2024年12月	2025年1月	2月
総人口	2,244,807	2,243,097	2,240,759
自然増減	▲ 1,584	▲ 1,663	▲ 2,300
社会増減	134	▲ 47	▲ 38

注）総人口は各月1日時点、自然・社会増減は前月中の増減数

宮城県内市町村の人口動向(推計人口)

(人)

	2011年3月	2024年2月	2025年2月	前年比 ③-②	震災前比 ③-①		2011年3月	2024年2月	2025年2月	前年比 ③-②	震災前比 ③-①
	①	②	③				①	②	③		
宮城県	2,346,853	2,258,481	2,240,759	▲ 17,722	▲ 106,094	村田町	11,939	10,083	9,824	▲ 259	▲ 2,115
仙台市	1,046,737	1,097,032	1,094,738	▲ 2,294	48,001	柴田町	39,243	37,398	36,975	▲ 423	▲ 2,268
石巻市	160,394	133,389	131,186	▲ 2,203	▲ 29,208	川崎町	9,919	7,849	7,663	▲ 186	▲ 2,256
塩釜市	56,221	50,604	50,267	▲ 337	▲ 5,954	丸森町	15,362	11,139	10,784	▲ 355	▲ 4,578
気仙沼市	73,154	57,046	55,706	▲ 1,340	▲ 17,448	亘理町	34,795	32,680	32,405	▲ 275	▲ 2,390
白石市	37,273	30,722	30,068	▲ 654	▲ 7,205	山元町	16,608	11,525	11,388	▲ 137	▲ 5,220
名取市	73,603	78,867	78,934	67	5,331	松島町	15,014	12,643	12,471	▲ 172	▲ 2,543
角田市	31,188	26,538	26,070	▲ 468	▲ 5,118	七ヶ浜町	20,353	17,383	17,148	▲ 235	▲ 3,205
多賀城市	62,990	62,534	61,991	▲ 543	▲ 999	利府町	34,279	35,078	35,018	▲ 60	739
岩沼市	44,160	43,534	43,176	▲ 358	▲ 984	大和町	25,366	28,458	28,346	▲ 112	2,980
登米市	83,691	71,712	70,269	▲ 1,443	▲ 13,422	大郷町	8,871	7,433	7,328	▲ 105	▲ 1,543
栗原市	74,474	60,294	58,864	▲ 1,430	▲ 15,610	大衡村	5,361	5,508	5,482	▲ 26	121
東松島市	42,840	37,858	37,346	▲ 512	▲ 5,494	色麻町	7,406	6,267	6,099	▲ 168	▲ 1,307
大崎市	134,950	122,428	120,658	▲ 1,770	▲ 14,292	加美町	25,421	20,668	20,225	▲ 443	▲ 5,196
富谷市	47,501	51,625	51,611	▲ 14	4,110	涌谷町	17,399	14,351	13,987	▲ 364	▲ 3,412
蔵王町	12,847	10,746	10,591	▲ 155	▲ 2,256	美里町	25,055	22,911	22,558	▲ 353	▲ 2,497
七ヶ宿町	1,664	1,175	1,148	▲ 27	▲ 516	女川町	9,932	6,053	5,980	▲ 73	▲ 3,952
大河原町	23,465	23,454	23,235	▲ 219	▲ 230	南三陸町	17,378	11,496	11,220	▲ 276	▲ 6,158

※「推計人口」とは、国勢調査人口をベースとして、住民基本台帳法に基づき届出等があった出生・死亡、転入・転出の数（日本人のほか外国人も含む）を加減して算出した人口（推計人口は各月1日時点）

自然増減数＝出生者数－死亡者数 社会増減数＝転入者数－転出者数